

こらぼ大森イベント掲示板

親子でいっしょに「おこづかいゲーム」

- おこづかいを始めていますか? -

欲しい物、必要な物、貯金のバランスを子ども達が自分で考えながらおこづかいのやりくりをゲームで楽しく体験します。

講 師：大即富士子（おおつき ふじこ）

（元小学校教師 ファイナンシャル・プランナー）

日 程：7/5（日）、8/2（日）、11/29（日）

時間帯：午前 10:00 ～ 12:00

場 所：こらぼ大森 2F 会議室

定 員：親子 20 組

費 用：無料

資料代：お子様 1 名 500 円

オリジナルおこづかい帳代として

親用冊子はプレゼント！

※申込が必要です。

申込み：一般社団法人 金融学習協会

大田支部 おこづかいゲーム事務局

メール：fp_smile1@yahoo.co.jp

F A X：03-6421-9031

[こらぼ大森おこづかいゲーム申込み] の件名で日程、参加者全員のお名前（ひらがな）とお子様の学年、緊急連絡先をメールか FAX でお知らせください。

主 催：一般社団法人 金融学習協会

（こらぼ大森の会議室活用事業です）

発 行：こらぼ大森ニュース編集委員会

発効日：2015 年 6 月 1 日

T E L：03-5753-6616 FAX：03-5753-6560

住 所：大田区大森西 2-16-2

大田区民活動支援施設大森【こらぼ大森】

今年度のこらぼ大森は、こんなことやります!!

★健康講座

- 体操とおしゃべりでゲンキ元氣げんき！ -
シニア対象の健康講座を 5 月に実施しました。
好評のため、6 月・7 月にも実施する予定です。

★第 12 回こらぼ大森夏まつり開催

- ともに支え合う地域づくりにつなげよう -
今年も地域の方々、ボランティアの皆様と協働して開催します。8 月 23 日（日）を予定しています。

★キャップリサイクル事業

- キャップリサイクルで緑あふれるまちづくり -
キャップを回収し、プランターにリサイクルする地域資源循環プロジェクトの運営

★園芸活動・芝生育成

- こらぼ大森を緑と花でいっぱい -
こらぼ大森に様々な植物を植えます。
その他、定例の芝刈り体験や、芝生学習会、樹名板作り体験なども実施予定

★文化・芸術活動

- 多様な文化・芸術に触れよう -
前回好評だった「こらぼ de アート」、大森の町工場展、大森の歴史写真展、囲碁・将棋教室を開催予定

● こらぼ大森でボランティア募集中 ●

こらぼ大森ではただ今ボランティアを募集しています。

- ・ 情報誌の袋詰めや会員さんへの手配り
- ・ 花壇のお花のお手入れ
- ・ 芝生の育成作業
- ・ その他ちょっとしたお手伝いいただける方がいらっしゃいましたら

こらぼ大森情報交流室 I

電 話：03-5753-6560

までご連絡ください。お待ちしております。

こらぼ大森 第 7 号 ニュース

- 歴史を伝える石碑
- LET'S こらぼ シルバー人材センター
- 海苔養殖・漁業権の歴史
- レジリエンスとは何か
- イベント掲示板「おこづかいゲーム」等



歴史を伝える石碑について

東京オリンピックが開催された頃、江戸の時代から続いていた大森の海苔養殖の歴史が幕を閉じました。その往時の様子は今、ふるさとの浜辺公園内の「海苔の博物館」で見ることができます。海苔養殖を続けながら、地域の人々が共に助け合い支えあってきた様子が伝わってきます。こらぼ大森の近くにも、地名の由来と共に、この地で続けられてきた海苔養殖と漁業が昭和 38 年に終えたことを今に伝える碑が残されています。

子どもたちは広い空き地で手作りのグライダーを飛ばして遊んでいたそうです。大森西特別出張所の隣りの「沢田東児童公園」内に碑はあります。

LET'S こらぼ

・シルバー人材センター

こらぼ大森では、子ども達の笑い声、スポーツや講座を楽しむ大人達の声が毎日響いています。でも、それだけではありません！静かにこつこつと、主に大田区産業に協力して下さる方達がいらっしゃいます。シルバー人材センターの皆さんです。1階の元職員室は、現在、シルバー人材センター大森西作業所として利用されています。机は作業台に変わり、黒板やスケジュール板は現在も残っています。今回は、公益社団法人大田区シルバー人材センターの大森西作業所の小高さんと吉野さんにお話を伺うことが出来ました。

シルバー人材センター大森西作業所では、現在、男性が3名、女性が10名が働いており、大田区内から通っています。約10社の地元企業と取引があり、お菓子箱の組み立て、電気部品の加工、昆布のカットと袋詰めなどの作業が主です。

シルバー人材センターで働きたい方は、まず会員に登録します。そして本部が、各個人の状況や能力と仕事を照合し、各個人にあった内容の仕事を請け負う作業所に配属されます。働きたいと希望する方は増えており、単にお金を稼ぐというだけでなく、みんなで集う場所という意味で来られる方もいます。

仕事を依頼したい企業・公共団体・ご家庭はシルバー人材センターの本部か当事業所にご連絡ください。こらぼ大森の以前の姿である大森第六小学校の卒業生からも仕事を依頼されたことがあります。その方は、当時の様子を懐かしそうにお話されていました。

仕事内容が難しいと感じた時には仲間と相談し助け合い、皆が無理せず続けられる工夫をしています。作業中は真剣ですが、休憩時間には、仲間たちと和気あいあいとおしゃべりするのが楽しみです。また、こらぼ大森は、子どもや現役の社会人など、様々な世代が出入りしている

ので、大勢の方と知り合えます。配食団体の食事を、昼食に頂くこともあります。最近、1階てらこやの部屋で、本部が主催となり登録者の研修会も開催しています。こらぼ大森からも依頼を受け、園芸で活躍している人材もあり、子ども達にも人気があります。

今後、地域産業を支えながら、こらぼ大森で様々な活動にも協力していきたいと考えています。

.....episode

◆「続けてこられたのは、ちょうどいい仕事量。そして、自宅で内職するよりも張り合いがあり、交流も生まれて楽しいから♪」と箱折りの手を休めず、笑顔で答えてくれた方もいました。

◆吉野さんは、こらぼ大森では出会いが増え、印刷業時代の技術やセンターで習得した技術から、シルバー人材センターの名刺を作成されたそうです。

◆小高さんは、管理業務の経験が活かされ、仕事が楽しいと生き生きとされていました。

公益社団法人
大田区シルバー人材センター 大森西作業所
作業時間帯 8:30~15:00
休憩時間 12:00~13:00
電話: 03-3298-1069 場所: こらぼ大森内

今も生きている 地域の歩み

町会長 田中利紀さん

昭和30年代まで、大森は半農半漁の地域で、大森西のこの付近は、海苔の干場が点々と広がっていて、私の家も代々海苔を生産していました。10月ごろになるとノリの種（胞子）付けのために、大船に網を積んで千葉の海岸の方まで行き、1カ月くらいしてから種を付けた網を積んで運んで来ました。大きな船も通り、特に西風が吹くと白波が立ってきて遭難する事もありました。

養殖作業は主に11月ごろから2月までの3か月、冬場の一番寒い時期が中心です。忙しい時は、子ども達も一緒に作業を手伝うのが当たり前でした。作業は、種付けをして10cm～15cmくらいになったら手でつまんで取り洗って刻んで、霞簀（よしず）に貼り付け天火干しをします。私も、小4から海にどんどんつれて行かれて、真冬冷たい時、氷が張っていて、船に水がたまると氷が張ってそこに手を突っ込んで作業する、水の中の方があったかいくら

こんな本 あんな本

「レジリエンスとは何か」

こらぼ大森2F情報交流室1の図書コーナーで貸出している本をご紹介します。

英国や米国、オーストラリアなどでは、すでに国として、レジリエンス強化に力を入れて取り組んでいる。「レジリエンス」とは、何があってもまた立ち直れる力のこと。

この本では、レジリエンスの考え方を解説し、個人的な心の持ち方だけでなく、環境、災害、経済などの事例も紹介している。

特に、興味深いのは、オーストラリアでの学校教育のプログラムと、家庭での対応など身近なことについての記述だ。

—子どもたちがそれぞれの年齢で出会うよくある課題から子どもを守ろうと過保護にならないこと。子どもが自分でできるかどうか確認せずに、子どものためにやってあげないこー これは、大人にも共通することではないでしょうか？

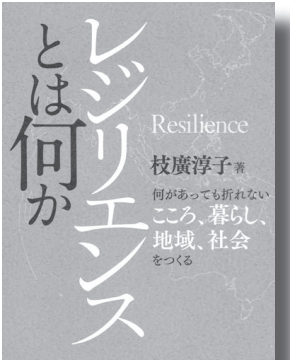
海苔養殖 漁業権の歴史

い。かじかんで泣いて作業したこともあります。海苔の干場は春から夏にかけては畑になって、キュウリやトマト、ナス、トウモロコシ等沢山育てていました。今は、自宅で草花を育てていますが、子どもの頃体を動かして覚えたことは忘れません。

こらぼ大森ができた頃は、自宅にあった鍬とかマンガ（農具の一種）とかを貸したり、育て方のアドバイスもしましたよ。これから何かお手伝いしたいと思っています。

子ども達には、昔があって今があるという事を伝えて行きたい。子どもの頃の苦労した体験けして無駄にならないし必ず役に立つと思っています。

この地域は、海苔養殖の時代から、いざとなるとみんなで一致団結する気風があると思います。それがこらぼ大森にもつながっているのではないのでしょうか。



レジリエンスとは何か
著者: 枝廣淳子
出版社: 東洋経済新報社